

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 27日

滋賀県知事 三日月 大造 殿

提出者

住 所 滋賀県高島市新旭町旭1600

氏 名 株式会社ホリゾン  
代表取締役社長 堀 英陽

電話番号 0740-25-4567

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

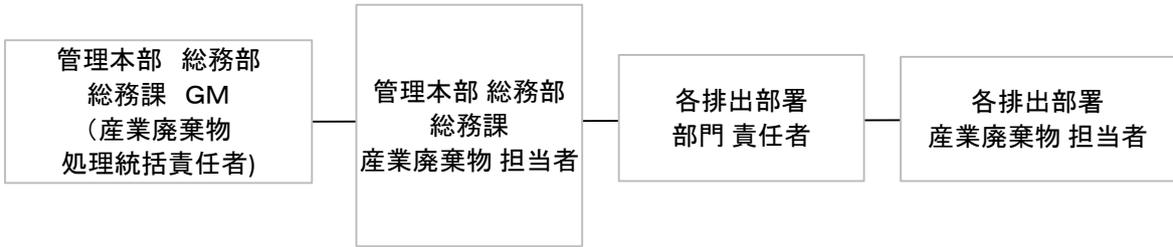
事業場の名称	株式会社ホリゾン 本社びわこ工場
事業場の所在地	滋賀県高島市新旭町旭1600
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2644 印刷・製本・紙工機械製造業
②事業の規模	令和6年度売上金額 11,894,000,000円
③従業員数	506人 (令和7年6月18日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙[産業廃棄物の一連の処理の工程]のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
(今後実施する予定の取組)		
別紙[産業廃棄物の種類と排出量]のとおり		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の種類 現状と計画	汚泥		廃油		廃酸		廃アルカリ		廃プラスチック		木くず*		電池類		蛍光灯	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
排出量	2,345.5 t	2,346.0 t	109.3 t	109.0 t	16.3 t	16.0 t	17.9 t	17.0 t	73.8 t	73.0 t	13.2 t	13.0 t	0.3 t	0.0 t	0.1 t	0.0 t
これまでに実施した取組	・製造、出荷工程での適正管理 ・有価物が誤って産廃として排出されないように、社内分別の強化(分別の詳細な基準を一覧表や手順書化し周知させた、等) ・社内で出来るだけリユースしている。															
今後実施する予定の取組	・生産増加を計画しているため排出量は増える可能性が高いが、引き続き現状の取組を継続する。															
産業廃棄物の分別に関する事項																
分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	・廃プラスチックや乾電池など分別の詳細な基準を再決定、一覧表や手順書化し社内周知した。正しく有価物に分別。 ・社内の産廃置場で誤った廃棄が無い点検。 ・各部署の産廃中間置場では混在しないよう分かりやすく表記															
今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	・分別に関して変更があった場合は都度、上記手順などを見直し、社内に周知させる。各課でも一層、教育を進める。															
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
これまでに実施した取組	該当なし															
今後実施する予定の取組	該当なし															
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																
自ら熟回収を行った(行う)産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	2,345.5 t	2,346.0 t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
これまでに実施した取組	・排水処理の適正管理															
今後実施する予定の取組	・引き続き、現状の取組を継続する。															
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
これまでに実施した取組	該当なし															
今後実施する予定の取組	該当なし															
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
全処理委託量	36.9 t	37.0 t	109.3 t	109.0 t	16.3 t	16.0 t	17.9 t	17.0 t	73.8 t	73.0 t	13.2 t	13.0 t	0.3 t	0.0 t	0.1 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	36.9 t	37.0 t	109.3 t	109.0 t	16.3 t	16.0 t	17.9 t	17.0 t	57.0 t	56.5 t	—	—	—	—	—	—
再生利用業者への処理委託量	—	—	100.6 t	100.0 t	—	—	8.5 t	8.0 t	56.8 t	56.0 t	13.2 t	13.0 t	0.3 t	0.0 t	0.1 t	0.0 t
認定熟回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
認定熟回収業者以外の熟回収を行う業者への処理委託量	29.6 t	29.7 t	—	—	—	—	—	—	0.2 t	0.2 t	—	—	—	—	—	—
これまでに実施した取組	・優良認定処理業者、再生利用業者、熟回収を行う委託業者を、可能な限り選定する。 ・定期的に排出量のゼロエミッション率の算出を行い、リサイクルへの意識向上と委託業者選定に繋げている。 ・委託業者の処理状況の現地確認。															
今後実施する予定の取組	・引き続き、現状の取組を継続する。															

別紙【産業廃棄物の一連の処理の工程】

